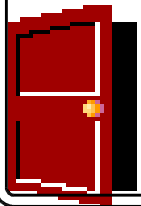


《読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



# 読書活動への扉を開く！

桑村小学校 令和4年9月20日① 文責 渡邊

## 夏休みの取組「函南町立図書館に出掛けよう」を終えて②！

さて、今回は3年生から6年生の作品を紹介します。

### 【第3学年児童の作品の紹介】

3年 佐藤 叶芽さん

函南町立図書館に行ったときの感想は、すごく本をさがしやすいことです。パソコンで調べたり、本だなでさがしたり、し書さんにさがしている本の名前をつたえればどこにあるかおしえてもらえます。

3年 小澤 美桜さん

函南町立図書館に行って思ったことは、図書館の中はすごくしずかでした。そして、本も学校の何倍もたくさんありました。本をさがすとき、コンピューターで調べていんさつして、出てきたかみの数字で丸を見て、その数字のところに行けば、さがしている本が見つかります。本をさがすのはかんたんでした。キッズルームには、大きな本とか紙しばいがありました。大きい本はなんさつもありました。すごかったです。

3年 菅沼 莉桜さん

図書館には、絵本のほかに紙しばいや小説、文庫、図かんがありました。わたしは図かんがすきです。2階には、大人が読む小説がたくさんありました。図書館に入ってすぐに「夏におすすめの本」のコーナーがありました。その中には、少しこわい本もありました。本がたくさんあっておもしろかったです。

### 【第4学年児童の作品の紹介】

4年 大熊 清菜さん

私は8月3日、水曜日に行きました。発見したことは二階のことについてです。私は二階にあまり行ったことがないので行ってみました。そうしたら、たくさんの方がいました。母は、「ここは勉強したり本を読んだり、調べるものを本で調べる所だよ。」と教えてくれました。図書館は、本を借りる場所だけではないことを知りました。

また、何回も来ているのに発見したことがあります。一階にも外国の本やいろいろな本があったり、わからない本を調べたりすることができるということです。函南町立図書館はすごいなと思いました。これからもいろいろな発見をみつけてみたいです。

4年 江間 大珠さん

ぼくは、絵本のコーナーに行きました。赤ちゃん用の本もありました。作者が分かりやすくしてあったので、さがしやすかったです。ぼくは、ヨシタケシンスケさんの本がすきです。たくさんシリーズがあって何度読んでもおもしろいので家にもありま

す。

2階には、勉強している中学生や高校生がいました。静かに集中して勉強していてカッコいいなと思いました。

### 【第5学年児童の作品の紹介】

5年 丹野 葵生さん

久しぶりに図書館に行きました。いろいろな本があって借りたい本がたくさんありました。私は2冊借りました。1冊目は『自然がつくる色大図鑑』です。2冊目は、『クジラの超能力』です。図書館は広くて本がたくさんあってワクワクしました。なつかしい本があって小さいときを思い出しました。幼稚園のときとは違う感覚でした。気になる本がまだまだたくさんあったので、また本を借りに行きたいと思いました。

5年 山口 結仁さん

1階は子供向けの本で、2階は大人向けの本があって区別されていて探しやすいかったです。

図書館の中も広くてきれいでした。本を検索(けんさく)できるパソコンが便利で、本の量が多くておどろきました。本だけだと思っていただけ、DVDもあってすごかったです。※資料にある写真は許可をとりました。

### 【第6学年児童の作品の紹介】

6年 大門 由依さん

私は今まであまり図書館に行っていなかったのだけれど、今回行ってみて小さい子供や大人の方がたくさんいました。また、本を借りるときに本の題名をパソコンに打てば、どこにあるのかを教えてくれる機械があり、すごく便利でした。

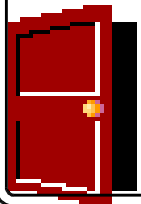
私はスイーツを作るのが好きなので将来の夢はパティシエになることです。そこで『パティシエになりたい』という本を借りました。他にもスイーツ本はあったのですが私は読解力をつけたいと思い物語系を借りました。函南町立図書館に行って、私は誰もが楽しく本を読めて、それも家族と一緒に読めるという良さ、また、たくさん本があるのでいつでも来て、いろいろなことを学ぶことのできる良さにも気づき、改めて図書館の良さを知ることができました。保育園に通っていたときは図書館に近かったので、借りることが多かったことを覚えています。しかし、小学生になったとき、あまり行く時間がなくなってしまい行けなくなってしまいました。これからは、時間をみつけて図書館に行ってみたいと思います。そして、読書推進リーダーとして、学校のみんなに本の良さを伝えていきたいです。

6年 加藤 壮祐さん

ぼくは家族とみんなで図書館へ行ってきました。図書館で『縄文の狼』という本を借りました。始めのページから狼が出てきて、迫力を感じたので楽しみながらどんどん読み進めることができました。そして、もう一度図書館に行きたくなり、『縄文の狼』を書いた作者の『こんぴら狗』という本を借りました。

ぼくはこれまであまり小説を読まなかったけれど、図書館に行って、本当にすばらしい本がたくさんあることを知りました。ぼくは、本の魅力を知ったので、学校の本もたくさん読んでみたいです。そして、また図書館に行ってみみたいです。

《読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



# 読書活動への扉を開く！

桑村小学校 令和4年9月20日② 文責 渡邊

## 夏休みの取組「函南町立図書館に出掛けよう」を終えて③！

さて、2枚目の読書通信となります。前の6年生児童の作品の続きから紹介します。

### 【第6学年児童の作品の紹介】

6年 菊川 蒼翔さん

ぼくが夏休みに函南町立図書館に出かけたいと思った理由は三つあります。一つ目は、本の種類がたくさんあることです。本がたくさんあることによって自分が好きな本を選ぶことができました。二つ目は、図鑑です。図鑑がとても多くあるので、知りたいことを調べることができます。しかし、図書館はとても広く、必要な本を見つけることがむずかしかったです。三つ目は、利用者が多いことです。図書館に着いたとき、最初に思ったのは利用者の多いことでした。人が多いということはたくさんの人から信用されているということなのでよいことだと思います。ぼくは、函南町立図書館に行って、すごく楽しかったです。好きな本を選んだり、調べるのに使ったり、知らない本と出会ったりしてよかったです。こうしたことは本を好きになるきっかけになるかもしれません。たいへん楽しい時間をすごしました。

6年 森 涼華さん

私は、母と弟と一緒に夏休み初日に函南町立図書館に行きました。図書館に入ると、さっそく「おはようございます。」という明るいあいさつが聞こえてきました。私も明るい声で「おはようございます。」とあいさつをしました。このことから、ここは相手を大切にし、思いやる、そういう所なのだと思います。入り口を入ったしゅん間、たくさん本がありました。さっそくおもしろそうな本を探し始めました。いっぱい本があるので検さくすることにしました。

この図書館の良さは、機械化が進んでいるところもあります。このことにより、より早く本を手にとることができました。ふだん手にしないような本でも、「この本、おもしろそう」という新しい発見が生まれたりします。いつの間にか30分ほど時間がすぎていました。そろそろ選ばなくてほしい、借りたい本をカウンターにもっていくと、「ありがとうございました。また、おこしく下さい。」と言われました。この最後の言葉を受け、またここに来ようと思いました。

今回、図書館に行ったことで、本の良さが少し分かったような気がします。これからも図書館を利用したいと思います。

6年 若林 柚羽さん

函南町立図書館は1階と2階があります。1階は小さい子供向けの本がたくさんありました。おくの方には、キッズスペースがありました。これなら小さい子供たちもあきずにいられるなと思いました。1階は、小説や歴史、物語の本がたくさんありました。

2階は、大人や高校生が読む本が多く、小さい子供向けではありません。しかし、小説コーナーでは、こわい話が多く、なんだかおもしろそうでした。次に来たときに、借りたいと思いました。また、この階には、勉強ができるスペースがあって、大

人や高校生、大学生がメモをとりながら勉強していました。ここは静かだから集中して勉強ができるのかもしれませんが。

今日、図書館に行って思ったことは、図書館はよいところがいっぱいあるということです。子供用と大人用と分けてあることや、勉強ができるスペースがあったり、なによりも本がたくさんあることです。私は、高校生になったら図書館で勉強したいと思います。

今回の読書通信は2枚となりました。3年生、4年生、5年生、6年生と実際に図書館に出掛け、利用することでたくさんの良さを発見したことが伝わってきます。

図書館には、読書センター機能と学習センター機能があります。学習センター機能としては、町立図書館の2階に学習スペースがあり、高校生や大学生、大人の人たちが静かに勉強している姿を目にし、自分たちもいつかは利用したいという思いをもった子供たちが多くいました。

また、1階にあるキッズ・スペースの良さにも気づきました。小さな子供たちでも家族の人たちと共に楽しい時間を過ごせることの良さを学びました。これは、生涯学習にも通じる場所です。小さな子供、小学生、中学生、高校生、大学生、大人、お年寄りなど幅広い年代の人たちが勉強をしたり読書を楽しむことができるのです。

これからも函南町のすばらしい施設である「図書館」をどんどん利用していただきたいと願います。

さて、函南町立図書館では、『函南図書館便り こども版』が発行されています。7月号では、夏休みにに向けて、1階に特集展示『夏の本』が用意されている案内や、特別展示『やってみたいをかたちにしよう』というタイトルで、自由研究のアイデアが展示されていることの案内が掲載されていました。



【町立図書館の工夫】

そして、夏休みの体験として、「おはなし会スペシャル」や「夏休みブッカー体験」等のイベントの案内も載っていました。

このように町立図書館では、町民が利用しやすいように、いろいろなイベントが企画されています。子供たちが興味を抱いた今が読書活動を推進するチャンスであると思います。どうか夏休みの体験として終わるのではなく、これからも継続して図書館を利用いただきたくお願いします。

----- 切り取り線 -----

「読書活動の扉を開く」（9月20日号）を読んだ感想

（ ）年（ ）